

創造性に富む研究で、未来に貢献する若手研究者を顕彰

第12回「三島海雲学術賞」決定。

公益財団法人三島海雲記念財団が主催し、自然科学及び人文科学分野において優れた実績を有する若手研究者を顕彰する「三島海雲学術賞」。その第12回贈呈式が今月、都内で開催されました。

三島海雲学術賞とは

「カルピス」の生みの親である三島海雲は、1962年に自らの全財産を投入し、三島海雲記念財団を設立。本賞は三島の「自然科学と人文科学の学術振興こそが日本の発展の原動力となり、人類の福祉の向上に寄与する」という思いを継承し、2012年、財団設立50周年を機に創設されました。

三島海雲学術賞は、自然科学及び人文科学の研究領域において、創造性に富み、とりわけ優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援します。



自然科学部門（食の科学）

アンドロゲンを基軸とした 栄養代謝制御に関する研究

大阪公立大学大学院 農学研究科
准教授

原田 直樹氏



自然科学部門（食の科学）

ビタミンKの 新たな生理機能としての フェロトシス抑制作用の同定

ヘルムホルツセンター ミュンヘン
上級研究員

三島 英換氏



人文科学部門（アジア地域の歴史・人文科学）

〈伝統医学〉が創られるとき： ベトナム医療政策史

東京外国語大学 世界言語社会教育センター
講師

小田 なら氏

第13回 三島海雲学術賞 募集

応募受付期間 / 2023年8月1日～2023年9月30日

〈対象分野〉

- ◆自然科学部門 食の科学に関する研究
- ◆人文科学部門 アジア（日本を含む）に関する人文社会科学諸分野の学術研究

応募資格 対象分野において、創造性に富み優れた研究能力を有する若手研究者。若手とは45歳未満の者（2024年4月1日現在）を指すものとします。日本在住の研究者及び海外在住の日本人研究者。人文科学部門は学術書（単著）があること。

推薦形式 当財団が依頼した学会、大学等研究機関の推薦によるものとします。人文科学部門は著書の出版機関による推薦も可。

選考方法 選考委員会で厳正な審査の上、決定されます。

表彰内容 賞状並びに副賞 300万円（1件につき）
自然科学部門（2件以内）、人文科学部門（1件以内）

受賞者発表 2024年6月、当財団WEBサイト等に掲載

贈呈式 2024年7月上旬予定

公益財団法人
三島海雲記念財団

<https://www.mishima-kaiun.or.jp/>



三島海雲学術賞 受賞記念オンライン講演 7月25日(火)より当財団WEBサイトにて公開中